

令和6年3月1日

卒業式のことば

- 暖かな春の風が少しずつ感じられるこの佳き日に、PTA 会長の富澤昇吉（とみざわ しょうきち）様、同窓会長の田中利明（たなか としあき）様をお迎えして、神奈川県立霧が丘高等学校第 47 回卒業証書授与式をこのように挙行できますこと、職員一同、大変うれしく思います。
- また、ご参列の保護者の皆さま方におかれましては、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。
- コロナ禍で多くの不安を抱えての高校入学であったと思います。今年度には、新型コロナウイルス感染症が 5 類相当に移行され、ようやくこれまでのような生活が期待されたところですが、それもまた、不安なところでもあり、ご苦勞が絶えない 3 年間だったのではないのでしょうか。
- そんな高校生活も終了し、本日を迎えることは、誠に感慨深いものがあるかと思えます。改めて保護者の皆さま方に、心からお祝いを申し上げます。

- さて、卒業生の皆さん、本日をもって皆さんは、それぞれの人生に向かって旅立つこととなります。
- 思い起こせば、3 年前、高校に入学した時は、新型コロナウイルス感染症が流行のピークを迎えた時期であり、これからの高校生活がどのようなようになっていくのかという大きな不安を抱えて入学したのではないのでしょうか。
- そして入学後もマスクの着用や、手指消毒、黙食、そして不要不急の外出は控えるなど、多くの制約があり、さらには学校も緊急事態宣言が発出され、臨時休業や分散登校など、先の見えない中での学校生活はとてつらかったと思います。
- そうした中においても、皆さんは、霧が丘高校の一員として、さらには地域社会の一員としてしっかりと感染対策に取り組み、このパンデミックに立ち向かい、見事に乗り越えてきました。
- 霧が丘高校で学んだ学習や人間性はもちろんですが、コロナ禍において、毎日の当たり前が大切であるということや、自分の命や他者の命が大切であるということ、地道に粘り強く、諦めずに取り組むということ。
そして、そうしたことを理解しながら授業や学校行事に真剣に取り組んだ 3 年間、困難に立ち向かった 3 年間は、皆さんを大きく成長することができました。
- 私は、皆さんと 1 年間しか関わりはありませんでしたが、3 年生で出会った皆さんは、明るく素直で、授業では真剣な眼差しで集中し、学校行事には全力で取り組む姿には、とても好感を持ちました。そうした明るく素直でメリハリのある行動は、社会において、必ず自らを助けてくれるはずです。

- これから、皆さんを迎える社会は、グローバル化の進展や絶え間のない技術革新などにより、社会構造は大きく変化し、予測が困難な時代と言われており、新たな価値を生み出していくために、魅力的なアイデアを創出していく必要があると叫ばれています。そうした中では、自分自身が思い描いたことを達成するために、苦しむことも多いと思います。
- そんな時に、この高校生活での素直さ、明るさ、そして全力でものごとに取り組むことを思い出してください。必ず皆さんをよい方向に導いてくれるはずです。
- 霧が丘高校のキャッチフレーズは、「チャレンジ ～未来を切り拓け～」です。何ごとも諦めることなく、自分を信じ、明るく素直で、全力でチャレンジし、自身の未来を、自ら切り拓いていってもらいたいと思います。霧が丘高校で学んだ皆さんならば必ずできると思っています。
- 卒業にあたり皆さんに「自他共栄」という言葉を送りたいと思います。何度か皆さんにも伝えているかもしれませんが、改めてはなむけの言葉として送らせてください。
- 簡単に言いますと、自分の得ばかりを考えずに、他者と共に栄える。他者と共に成長しようということです。
多くの人がこの言葉を心にとめてもらえれば、世の中は幸せであふれることになるだろうと私は思っています。
- これからの皆さんの活躍を大いに期待しています。本日は、誠におめでとうございます。